

「いじめゼロ」をめざして(保護者・地域の皆さまへ)

令和元年10月28日発行 陽東中学校生徒指導部

朝晩の冷え込みとともに校庭の木々の葉も色づき始め、秋の気配の深まりを感じるようになってきました。「スポーツの秋」「芸術の秋」などと言われますように、運動部の新人大会や文化部の各種コンクールでは素晴らしい成績を収めることができました。さらに「読書の秋」とも言われますので、秋の深まりとともにますます落ち着いた充実した学校生活を送れることを願っています。

さて本校では、すべての生徒が安心して学校生活を送れるように「いじめゼロ」を目指し、生徒の自主的な活動を支援してきました。今回は今年度のこれまでの活動の一部をご紹介します。なお、これらの取組状況については、陽東中学校ホームページからも発信しておりますのでぜひご覧ください。

○第1回いじめ根絶集会 【6月5日(水)】

生徒会執行部が台本、出演、撮影を行い、生活安全委員会の生徒はエキストラ出演しました。また、編集作業には放送部の協力を得ながら、5分程度の映画を作成しました。

その映像を見ながら、どうしたら『いじめ』が起こらないかを生徒全員が考えました。

【VTR】



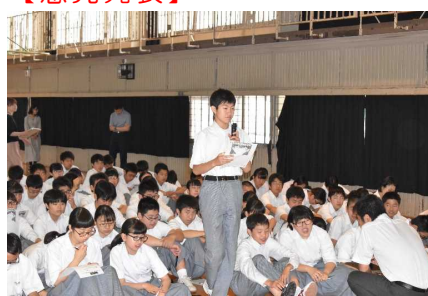
生徒会執行部が主演、助演をして、生活安全委員会の生徒がエキストラ出演をしました。

【VTR視聴中】



今回は『SNSから始まるいじめ』をテーマにしました。執行部が考えた質問に対して自分の考えをプリントにまとめました。

【意見発表】



自分の意見を挙手して発表しました。多くの意見が出され、活発な意見交換がなされました。

【生徒会執行部からのメッセージ】

「今回のテーマはSNSから始まるいじめです。皆さんもよく使うSNSでの悪口やグチから、このVTRのようないじめにつながってしまうことを分かっていただけだと思います。しかし、SNS以外にも日常生活に『いじめの芽』があります。今日、皆さんが指摘してくださった問題点、つまり、『いじめの芽』が、皆さんの周りにも起きてしまうかもしれません。また、それをSNSなどから「いじめ」に発展させないように注意していく必要があります。そのためにも、日頃からSNSでのメッセージや言葉づかいを身に付けていきましょう。」



校長先生からのお話(要約)

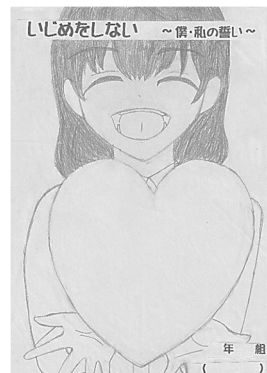
みんなの発言を聞いていると、誰もが「いじめは良くない」と言っている。しかし、先日行った「イヤな思い」の調査の結果を見ると、「こういうことがイヤだった。」との思いをしている人がいる。しかし、同じ調査で、「イヤな思いをさせてしまった」と自覚している人はいなかった。

このことは、いじめについても同様といえる。(「いじめ」の定義を読み上げ、)いじめは、やっている人がいじめだと思わなくても、相手が苦痛を感じていたらいじめと判断されます。目に見えるもの(暴力や仲間はずれ、ネットトラブル等)だけでなく、目に見えないもの(無視や避ける等)もいじめになる。「イヤな思い」がいじめになることもある。自分に自覚がないことは困る。しっかり自覚をもって欲しい。

人間は、他の動物にはない『相手の心を読み取る能力』に優れている。だからこそ人間は、この世の中をつくってきた。「相手の気持ちをを読み取る。相手のイヤだと思ふことをしない」これらのことをしっかり実践し、いじめをなくすとともに、一致団結、「チーム陽東」として、誰もが中学時代楽しかったと思える学校にしていきたい。

しかし、SNS以外にも日常生活に『いじめの芽』があります。今日、皆さんが指摘してくださった問題点、つまり、『いじめの芽』が、皆さんの周りにも起きてしまうかもしれません。また、それをSNSなどから「いじめ」に発展させないように注意していく必要があります。そのためにも、日頃からSNSでのメッセージや言葉づかいを身に付けていきましょう。

集会後には、各教室に戻り、いじめを防ぐために、生徒一人一人が「自分は何ができるか」を考え、学校全体でいじめをなくすことを目指して、『行動宣言』を用紙に書き込み、全校生徒が廊下に掲示しました。右の記入用紙は、美術部の生徒に作成して頂きました。



【廊下に掲示された『行動宣言』】

○校内いじめゼロポスターコンクール【9月17日(火)～20日(金)】

美術部員の生徒が中心となり、本校からいじめがなくなることを願って描いた「いじめゼロポスター」が34点集まりました。

今年度も生徒昇降口に展示して校内コンクールを実施しました。生徒会中央委員会、学年学級委員会と先生方で投票を行い、金賞4点・銀賞4点が決定しました。

☆金賞作品☆



☆銀賞作品☆



(裏面に続く)

○第2回いじめ根絶集会 【10月2日（水）】

『NHK マダ友プロジェクト』を活用して

今回は、教室でマダ友の“悩み”に返事を書くところからスタートしました。



集会では、同じマダ友の“悩み”に返事を書いた生徒が、クラス・学年の枠を超えて5～6人のグループをつくり、自分の書いた返事を発表し合いました。



【生徒会執行部からのメッセージ】

今回のテーマは、「悩みについて考える」でした。前回は、身近な友達に相談でき悩みを“マダ友”に相談するというものでした。今回は、“マダ友”の8つの悩みを、クラスの枠を超えて話し合いをしました。話し合いでは、自分と同じ意見か自分とは違った意見があったと思います。今回、皆さんが体験したように、人は違った意見や考えをもっています。今回の“マダ友”の悩みにも、自分と友達との意見や考え方が違い、発言することが怖い、ケンカしてしまったという悩みがいくつかありました。自分と違う意見を理解することは難しいことだとは思いますが、すべてを否定するのではなく、相手の意見を聞き入れようとするようにしましょう。また、それぞれ違った意見をもっているということは、色々な解決策をもっているということです。だから、もし自分が悩みを抱えてしまったときには、一人で悩まず、友達に相談してみましょう。必ず良い答えをもらえると思います。皆さんで、より良い陽東中学校にしましょう。

○定期的アンケート（イヤな思い調査）と教育相談の実施

本校では、今回ご紹介しました生徒の自主的な活動以外にも、教職員が生徒とのより良い人間関係の構築に努めるために、定期的なアンケート(5月・9月・10月・1月)・いじめに特化したアンケート(6月・12月)や教育相談(6月・11月)、毎日の休み時間や昼休みの校内巡回、スタンダードダイアリーの活用など、いじめの未然防止、早期発見に取り組んでいます。

保護者及び地域の皆さまには今後とも本校教育へのご理解・ご協力をお願いいたします。

(「いじめゼロ」を目指した取組のカラー版や根絶集会の様子を、陽東中 HP で見るができます。ぜひご覧ください。)